

平成30年度 六郷小学校学校評価(後期) 結果・成果・課題・改善方法及び学校関係者の意見

評価目標指数(A+B=80%以上) ○:80%以上 ▲:80%未満

A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまり思わない D:思わない

項目	主な具体策	評価の観点	保護者				児童				教職員				成果(○)と課題(▲)・改善方法(☆)	学校関係者評価委員から (課題事項について)
			前期		後期		前期		後期		前期		後期			
			A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価	A+B	評価		
1【知】 確かな学力の育成 →主体的・対話的に学習し深く学ぶ子の育成に努めます	○基礎基本の確実な定着 ○自ら学び自ら考える力の育成 【数値目標】 (1)学年×10分+10分の家庭学習に取り組む児童の割合 80% (2)漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者 80% (3)県学力診断のためのテストで前年比の合計 +5点	漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者は80%以上となるように指導している。	99.0%	○	97.0%	○	86.0%	○	90.0%	○	71.0%	▲	75.0%	▲	○漢字力・計算力テストへの取組の保護者の評価は高かった。基礎的な学力を定着させるための有効な手段として効果が認められている。(合格点取得者:漢字90.3%算88.8% 1月末現在) ○「主体的な学びを引き出す授業づくり」について、教職員の自己評価のA+Bの割合が大きく向上した。授業公開を通して、よりよい授業づくりを追究した成果が表れてきていると考えられる。 ○児童の学習姿勢に対する保護者の評価A+Bが前期を大きく上回った。落ち着いた学習態度で課題に真剣に取り組んでいる様子が理解されている。 ▲漢字力・計算力テストの教職員の自己評価が低いのは、合格に届かない児童への指導に課題意識をもっているためである。家庭との連携が必要である。 ▲児童の家庭学習に対する評価が保護者・教職員ともに目標に届かなかった。時間・内容等で、さらに工夫を行っていくことが必要と考えられる。 ☆漢字力・計算力テストは合格率が増加しているため、今後さらに個別の支援を続け、目標を達成できるようにしていく。 ☆家庭学習については、学習時間の確保とともに、「家庭学習の手引き」(家庭学習123)をもとにして保護者と共通理解を図って取組を強化していく。また、家庭での「オンライン」の活用も呼びかけていく。	教師が授業を工夫し、子どもが集中して落ち着いて取り組んでいる。教師の話をよく聞いている子どもが多い。教師の授業力はこれからも伸びていこうと思う。 ・学習においては、書くときの姿勢に気を付けていきたい。鉛筆の持ち方等の基本も同様である。 ・漢字力・計算力テストの合格率が前期よりも向上した。保護者に伝え、さらに協力してもらおうという。 ・保護者は家庭学習の内容の充実を期待している。家庭での励ましや保護者の協力も必要だ。 ・「オンライン」を使っての家庭学習を進めていく場合、家庭でインターネットが使える環境があるかなどを確認する必要がある。 ・「だいたいわかり」から「自分で書く」まで、家庭学習で参加し、学校賞を授与されたとのこと。自分の考えをまとめて書く力は今後ますます重要だ。
		児童の主体的な学びを引き出す授業づくりを心がけている。	71.0%	▲	80.0%	○	88.0%	○	85.0%	○	75.0%	▲	100.0%	○		
		家庭学習(宿題含む)を「学年×10分+10分以上80%」となるように、指導したり励ましたりしている。	75.0%	▲	77.0%	▲	90.0%	○	89.0%	○	78.0%	▲	62.0%	▲		
2【徳】 豊かな心身の育成 →友達と協力し、心豊かに生活する子の育成に努めます	○基本的な生活習慣の徹底 ○「考え、議論する道徳」の実施 【数値目標】 1)学校が好きな児童 90% (2)体験活動・交流活動の満足度 90% (3)「みんなにすすみたい一冊の本」県教育長賞受賞者 90%	気持ちのよい元気なあいさつ・大きな返事の指導と共に率先垂範している。	82.0%	○	88.0%	○	95.0%	○	95.0%	○	91.0%	○	100.0%	○	○「あいさつ・返事」については、保護者・児童・教職員ともに評価が高い。あいさつ運動や教師自らの率先垂範、地域の方々へ進んであいさつをするよう指導していることが効果を高めている。 ○「良好な人間関係づくり」については、保護者・児童・教職員ともに90%を超えた。少人数の強みを生かした一人一人に寄り添った学級経営の実践が成果として表れている。また、いじめゼロへの取組や教育相談体制の充実など、児童が安心して生活できる環境づくりも評価されていると考えられる。 ○体験活動や学校行事に対する評価についても保護者・児童・教師全てで90%を超え、前期評価よりも向上した。児童が主体となって取り組み、内容を充実させた活動が行われていること、学校行事を保護者が参観可能としていることが評価されていると考えられる。 ☆「良好な人間関係」について一部の児童がCまたはDと回答しており、個別の支援が不可欠である。全教職員によるスクーリング会議の定期的な実施とともに、子どもと親の相談員、スクールカウンセラーと連携し、児童一人一人の悩みに対応できる教育相談を実践し、積極的な生徒指導ができるよう取り組んでいく。	・小学生は地域の人々に元気よくあいさつをしていて、気持ちがいい。 ・生徒指導に関する週1回のスクーリング会議での共有・専門スタッフ(相談員・S・O)との連携が効果的であると感じる。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう今後も継続してほしい。 ・小規模校の強みを生かした縦割り班活動は必須だ。特に清掃活動1〜6年生が同じ場所でも働くことは、よい伝統を引き継ぐにもいい価値ある取組だ。 ・学校行事では、子どものよさややる気を引き出す工夫が随所に見られた。 ・六郷小の子どもたちは、読み聞かせなどの外部講師として話をするときに、すぐに集中して積極的に参加してくる。これからもよい伝統として引き継いでほしい。 ・地域や家庭の雰囲気がよく、子どもたちの落ち着きある態度に反映されている。
		安心して楽しく、良好な人間関係で学校生活を送ることができるように生徒指導の充実にも努めている。	94.0%	○	93.0%	○	93.0%	○	97.0%	○	91.0%	○	100.0%	○		
		各種体験活動・交流活動・学校行事の活動では、一人一人がよさを発揮し成功体験や満足度を充実させ、次の活動に生かすための指導に努めている。	94.0%	○	96.0%	○	92.0%	○	95.0%	○	90.0%	○	100.0%	○		
3【体】 健康で安全な生活習慣の徹底 →体力の向上と健康教育の推進 【数値目標】 (1)危機回避の行動がとれる児童 90% (2)体力テスト総合評価A+Bの割合 60%	○健康で安全な生活習慣の徹底 ○体力の向上と健康教育の推進 【数値目標】 (1)危機回避の行動がとれる児童 90% (2)体力テスト総合評価A+Bの割合 60%	歯磨きタイム等の健康な生活習慣・病気の予防等の健康教育の指導をしている。	83.0%	○	82.0%	○	90.0%	○	98.0%	○	100.0%	○	100.0%	○	○「健康教育」については、保護者・児童・教師ともに評価が高かった。歯みがきタイムや病気の予防に対する指導が各学級で徹底されていることが評価につながっていると考えられる。 ○「安全教育」に対する評価は保護者・児童・教師ともに90%を超えた。特に、児童の評価が100%に達したことは、確実に成果が上がっていると捉えることができる。また、日々の集団下校の際の安全指導や様々な場面を想定しての避難訓練等の実施が有効であったと考えられる。 ○「運動の楽しさや喜びを味わわせる体育学習」については、教職員の自己評価が大きく向上した。授業改善への取組や児童が主体的な行動に前向きに取り組めるよう支援するなどした成果が表れている。(体力テストA+B 69%;前年比10.1ポイント向上) ▲児童の体力向上に対する保護者の評価は前期よりも向上しているが、80%には届いていない。児童や教職員の評価との差が大きいので、児童の頑張りを伝えていく必要がある。 ☆学校ホームページや各種たよりを通して、児童の体育学習や体力向上への取組を積極的に発信していく。	・子どもの健康な生活習慣づくりは大切だ。 ・高学年では睡眠時間が減り、生活が乱れることがあるように。 ・放課後や土日に近所で外遊びをする子どもたちの姿を見ることが少ない。正月などに風揚げをする姿を見かけないのは残念だ。 ・家庭でも親子でスポーツを楽しむ。我が子の運動や外遊びの姿を把握することも必要だと感じる。 ・地域のバトロール当番や保護者の登校時信号前交通指導表が設置されていて、取り組みやすい。 ・避難訓練で身を守る方法について、今後も継続してほしい。様々な避難の方法を知っているのと知らないのでは、対応行動に大きく差が出ることだろう。
		運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動量を確保した体育学習を工夫し、体力の向上に努めている。	73.0%	▲	77.0%	▲	86.0%	○	88.0%	○	71.0%	▲	89.0%	○		
		安全(生活・交通・災害)について計画的・継続的に指導し、危機回避の行動がとれる児童の育成に努めている。	87.0%	○	91.0%	○	99.0%	○	100%	○	91.0%	○	100.0%	○		
4 信頼と協働で結ばれた地域ととも ある学校づくり	○各種たより・学校HPによる学校情報の積極的発信 ○授業参観の地域への公開・公民館との合同運動会の実施 ○保護者・地域との連携による登下校の見守り、安全パトロール 【数値目標】学校HPの授業日の更新率 90%	学校・学年・保健だより等を発行(毎月1回)したり、学校ホームページに掲載(授業日の更新率90%)したりして、教育活動の情報を提供している。	96.0%	○	100.0%	○					70.0%	▲	80.0%	○	○各種たより・学校ホームページについて、保護者の評価が100%となった。ホームページについては、日々の内容の更新、各種たよりについては、内容の充実への努力が認められている。また、ホームページを更新する際に教職員が互いに声をかけ合い、更新回数(アケセス数 4月平均約4,000 11月 8,000超 1月10,000超) ○「登下校の見守り・パトロール」については、保護者・教職員ともに評価が高かった。保護者・教職員、六郷小学校パトロール協力隊が連携し、情報を交換しながら日々児童の安全を確保しようとしている取組の成果が認められているといえる。 ○「いじめの未然防止・早期発見」については、保護者の評価が向上した。いじめゼロ集会(2回)の実施、いじめ防止標語の募集によるいじめ許さない学校の雰囲気づくり、教育相談体制の充実によるいじめ問題への早期対応が効果的であると認識されている。 ☆学校ホームページは、今後も積極的に更新し、内容の充実にも努めていく。また、各種たよりは内容を精選し、学校だよりと学んだよりを一歩必要情報を伝えつつ、業務改善も図っていく。	・学校の教育活動を積極的に発信するのはよいことだ。学校だよりやホームページでの情報発信は今後も続けてほしい。 ・民生委員や青少年相談員が学校と協力してパトロールを行っている。小学生がいない地区でも見回りを続けている。今後学校と協力して子どもたちの安全を守ってほしい。 ・公民館との合同運動会は大変よい雰囲気。毎年楽しく参加している。 ・地域との交流ができていて、今後も学校と地域を結び付けてほしい。 ・不登校児童がいないのは、家庭や地域、学校の連携がよくなってきているおかげだと感じる。 ・いじめ許さない雰囲気づくりが大切。小さいいじめも見逃さないようにしていきたい。
		保護者や地域住民と連携、協力して各種行事・登下校の見守り、安全パトロール等に取り組んでいる。	97.0%	○	98.0%	○					100.0%	○	100.0%	○		
		本校いじめ防止基本方針を理解し、いじめの未然防止・早期対応に組織として取り組んでいる。	90.0%	○	97.0%	○					100.0%	○	100.0%	○		